

平成15年度 第4回（平成15年9月25日）図書館運営協議会会議要旨

1. 出席者

運営協議会委員（7名）

小杉山会長・加藤委員・山田委員・奥津委員・埜崎委員・日高委員・山本委員
（欠席委員3名）中多副会長・矢口委員・三輪委員

図書館側委員（4名）

鹿島中央図書館長・広田奉仕係長・坂井視聴覚係長・豊崎戸山図書館長

図書館事務局（3名）

佐藤管理係長・秋山管理係主査・東主任主事

2. 場所 中央図書館大会議室

3. 開会

【小杉山会長】

ただいまから第4回図書館運営協議会を開催いたします。

本日の協議事項は前回に引き続き、区立図書館の理念・役割についてです。

区立図書館の理念・役割について、各委員から意見が出ています。これについて事務局から説明をお願いします。

【佐藤管理係長】

各委員から出された意見は、現在協議中の「図書館の理念・役割に関するもの」3件、今後の検討材料の「図書館サービス充実に関するもの」5件、その他の意見3件が出されております。

（1）図書館の理念・役割に関するもの

① 多様で高度化する区民の学習ニーズに応じていく役割が区立図書館には求められるが、すべてのニーズに応えることは不可能です。

読書習慣をもつ読書好きの区民を育てていくことを大胆に掲げてもよいと思います。読書運動、移動図書館、学校と図書館との連携事業などの一層の活性化を期待します。

② 所得格差による学力格差・情報格差拡大を少しでも避けるため、また区民の知的レベル維持のため、無償でサービス提供をする図書館は重要です。

区内の他の生涯学習施設以上に、単なる場所貸しに陥ることなく、区民から求められる情報・サービスの提供を行う文化の拠点として中心的役割を担います。9館各々が地域の特性にあった図書館づくりをする。（四谷図書館のようなゆったりとした図書館施設づくり）

③ 情報・文化の拠点として図書館、児童館、ことぶき館、地域センター等、人が集う場所の情報発進に重点を置くよう方法・手段を考えたい。

（2）図書館サービス充実施策に関するもの（今後の検討材料）

④ 学校図書館との連携について

小学校ではクラス・学年毎に出向いて、学校教育の一貫として貸出を受けている。中学校で団体で出向くのが難しいのであれば、学校に本を届けるサービス等を行う。

⑤ 乳幼児の親を巻き込んだ「読み聞かせ」の継続。その時に絵本だけでなく、親自信のためにも読書を薦め、「大人が本を読む姿」を見せられる状況をつくる。視覚障害者のみでなく広く一般の区民にも朗読サービスを行う。

レガス主催の読書に関する講座があれば知らせる。閲覧席拡充。

⑥ 新聞記事等データベースサービス提供。

インターネットの使用料金についてどうするか検討が必要。

⑦ 新しい本をできるだけ揃える。百科事典等、調べ学習に使うには資料があまりに古すぎる。

⑧ 図書館は、区民・利用者の自主的な学習・文化・余暇活動を支援する施設であると思うので、利用しやすい、気軽に立ち寄れる所でなければならないと思います。

（建物） 近くに図書館がないと行きづらいし、利用しにくいので、移動図書館や宅配サービス等、利用しにくい地域向けに今後特に配慮が必要。

(人) 専門知識をもった方がもっといてもいいと思います。また、区民ボランティアとして司書の資格をもった方にお手伝い頂くのも図書館がさらに身近になって利用しやすいのでは。

(資料) 前回よりお話に出ている大学との連携も貴重な資料をみられるよいチャンスだと思います。また、本屋になくて手に入りづらい資料などさまざまな資料がさらに利用しやすくなることを望みます。

(催し物) 読み聞かせや映画会、朗読は図書館に立ち寄るきっかけになります。司書希望者に対する簡単な講座等や司書の方の経験談などお聞かせ頂けるとうれしいです。

(3) その他

⑨ 来年度、インターネット予約など新しいサービスの準備でお忙しいと思いますが、現在行われているサービスの低下を招かないようお願いします。

⑩ 意見箱があると思いますが、もっと広く利用者に意見を気軽に聞けるよう目立つ所にポスターを掲示するなどPRしたらいいと思います。

⑪ 幼い頃からの読書習慣は、その人の生き方を支えると思います。若い人たちが真剣に読書に取り組んでいる人生も多くみられます。指導的立場の人が(自分が読んだ)感動の本を内容も合わせて紹介続けるようにしたらよいと思います。

以上、各委員からのご意見をご紹介いたしました。

①～③は図書館の理念・役割に関するものです。

④～⑧は具体的サービスに関するもので、後日の議論の材料にさせていただきます。

⑨～⑪については、お答えいたします。

⑨のインターネット予約については、平成16年度早期実施に向け検討・準備中ですが、既存のサービスについても向上に努めます。

⑩意見箱は各図書館に設置されていますが、目立つように工夫します。

⑪については、その通りでございます。

以上が皆様のご意見ですが、扱いといたしましては、①～③は図書館の理念・役割論に含めてご協議いただければと思います。

【山田委員】

学校が図書館から貸出を受ける。出向かなくても方法は別にあるのでは。学校と図書館の相互協力が大切です。

【広田委員】

四谷図書館では、保護者の方が代表して借りたい本を選書し、取りにきてもらうことをやっていました。図書館では運搬はできないので、取りにきてもらっていました。

【小杉山会長】

学校が区立図書館から本を借りることについて、システム化されていますか。

【山田委員】

学校が区立図書館からまとめて本を借りるということは現在行っています。

学年・学級、教員によって読書活動に力を入れる人とそうでない人との差があります。こういう本が読みたいという要望をまとめ、教員、あるいは保護者に中継ぎをしてもらい、図書館から貸出してもらっていますが、システム化されているわけではなく、また、定期的なものでもありません。

【加藤委員】

新宿に居住する以前、子が通学していた中学校では、図書館が学校に本を運んでくれました。

【山田委員】

区立図書館からの本の借り入れについて、校長会では取り上げたことはないのですが、校長会として全く係わっていないわけではありません。学校図書館推進委員会で、学校教育における図書館の役割について検討しています。委員会では2年に1回教員用の資料を作成しており、その担当が私です。

【小杉山会長】

図書館利用の仕方について、学校では指導しているのでしょうか。

【広田委員】

以前、区内の私立学校が生徒を連れて来館し、図書館利用について学習したことたこともあります。

【小杉山会長】

新宿区ではそうでもないのかも知れませんが、子どもたちが本を読まなくなりました。高校生や大学生が本を読まないで、どうやって論文やレポートが書けるのでしょうか。

【鹿島委員】

大学には大学図書館を設置するように規定されています。最高学府としての専門書は充実しており、地域住民にも開放してもらおうよう進めていきたいと考えております。

【小杉山会長】

新宿は都内でも都心に位置しており、働く人達のための図書館が必要です。これにはどう対応していくべきでしょうか。

【埜崎委員】

四谷図書館は午後8時まで開館していますが、もう少し開館時間を延長できないのでしょうか。働いている人の中には閉館が午後6時や8時では利用できない人もいます。

【小杉山会長】

角筈図書館は副都心の中心に位置しているということで、産業関係の書籍の充実に力を入れ、特性を出しています。

働く人たちのため、また起業する人のためへの図書の充実も必要ではないでしょうか。働く者たちの図書館の役割が重要です。

【鹿島委員】

ビジネス支援のため、角筈図書館では100万円ほど一般書とは別に予算計上しています。昼休みはビジネスマンの利用が多いのが特徴です。

中央図書館と地区館の役割論の中でこの議論は深めていきたいと考えています。

【小杉山会長】

データベース、情報提供が今後重要となります。

岩波新書『未来をつくる図書館ーニューヨークからの報告』（菅谷明子著）にニューヨーク市の例としてNPOが運営する図書館が紹介されています。この図書館は24時間開館し、パソコンも80台以上設置されているなど今後の図書館のあり方を示しています。

【奥津委員】

図書館の休館日（月曜日）を変更していただきたい。

公共施設は月曜日が休館のところが多すぎるので、利用しにくいです。

【鹿島委員】

23区、他市が月曜日休館の所、新宿区が月曜日を開館にすると、他の区からも利用者が殺到する可能性があります。

また、勤務体制・ローテーション上の問題もあります。

時間延長も含めて今後の対応を検討します。

【佐藤管理係長】

夜間開館していると他区から来る利用者もいます。世田谷区では金曜日を閉館日としており月曜日の来館者は多いようです。

休館日を減らすことを考える必要はありますが、費用がかかります。

それだけの費用があるなら書籍の購入に充てたいと考えています。

【小杉山会長】

本日は資料が配布されているので、まず事務局から資料説明をお願いします。

【秋山管理係主査】

「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」平成13年7月文部科学省告示について説明。

【埜崎委員】

図書館サービスについて、「数値目標」を設定するとあるが。

【鹿島委員】

基準は、国が定めた努力目標です。その中での「数値目標」については、今後の課題です。

なお、区民の意識調査など区民から評価をいただく機会は、今後も続いて設けたいと思います。

【桮崎委員】

多様な学習機会の提供について、専門講師による大人向けの講座を開講してもらいたいです。

【鹿島委員】

図書館でも映画会や平和事業等行っています。社会教育施設は図書館だけではないので連携が必要となります。図書館らしさを出すなら作家に自著について語らせる講演等考えられますが、今後の検討課題です。

【小杉山会長】

今までは美術館なら美術だけで、音楽に関する催しはなかった。枠に囚われず区民のためになるような発想の転換が必要です。

【桮崎委員】

赤城社会教育会館のシニア講座に申し込んだが、3人しか受講生がいなかった。

宣伝不足ではないか。図書館でも館に気軽に来てもらえるような様々なPRが必要です。町会の連絡網への掲載も検討してください。

【鹿島委員】

町会報には警察や消防の通知も掲載されます。図書館の情報掲載は町会にも負担となります。しかし、これはやれるとのこと。

先日上映した「みすず」という映画は定員を越える来館者がありました。

映画によっては40名程度のこともあります。内容によって集まる人数に差があり、必ずしも広報に問題があるという認識はもっていません。

【加藤委員】

「みすず」を上映すると金子みすずに関する書籍が借りられるような効果は大きいですか。

【広田委員】

事前に準備のために借りたり、その後の理解を深めるために借りられることもあります。

新宿区立図書館の利用者数は23区でもトップクラスです。ただし、区民の占める割合は約6割です。

【坂井委員】

「山の郵便配達」を上映した時も100名以上の入場者数がありました。

水曜映画会も60～70名の入場者があります。年齢層は映画によっても異なるが、「山の郵便配達」は50～60代、「みすず」は家族連れで来る人も多かったです。

【山本委員】

9館がそれぞれ特性をもった図書館づくりを進めてほしい。地区館はどういう特色を持っていますか。

【広田委員】

四谷図書館は雑誌が多く、洋書雑誌もあります。CDも充実しています。児童コーナーも区立で唯一午後8時まで開館しており、子連れで午後7時頃来る人もいます。1フロアで業務を行っているため、カウンターに出る職員は3人で済みます。

西落合図書館は元々児童図書館をつくる予定でしたが、一般の図書館として開館いたしました。

北新宿図書館は、当初は中野区民の利用者が多かったが、今は東中野に中野区立図書館が設置されたので中野区民の利用者は減少しています。

角筈図書館はビジネスマンの利用者が多いです。

中町図書館は地域住民の利用が主となっています。

戸山図書館は視覚障害者サービスに力を入れています。

大久保図書館は外国人の利用者が多いです。

鶴巻図書館はスペースが狭く、非効率な箇所があります。

【日高委員】

自分の子が今度、小学校に入学します。本人が楽しさを理解すれば自然に読書が進むと思います。子どもを図書館に引きつけるよう児童図書にもっと工夫をお願いします。

【広田委員】

読み聞かせは各図書館で行っています。人形劇・子ども映画会の開催時に読み聞かせのPRもしています。四谷図書館では平成10年には読み聞かせでは

3～4人しか集まりませんでしたでしたが、現在は20人ほど集まるようになりました。PR活動の大切さは認識しています。

【豊崎委員】

戸山図書館では視覚障害者へのサービスに努めています。

四谷・大久保図書館の休館日には利用者が多く、昼休みには国立国際医療センターや統計局の職員も来ます。

戸山ハイツの住民の高齢化に伴い、図書館利用者の高齢化を感じています。

【鹿島委員】

今回で15・16年度の図書館運営協議会も4回目となりました。本年度は、区立図書館の理念・役割に対する基本的な議論を中心に行うこととなっていますが、今までの議論は以下のとおり整理できると思います。

ひとつは、「知る権利を保障する図書館」です。

図書館の社会的役割は、国民の「知る権利」を保障することであり、そのためにあらゆる資料の提供をもってそれに応えることです。

資料を求める人々やグループに対し、効果的にかつ無料で資料を提供するとともに、住民の資料要求を増大させるのが図書館の本質的機能です。

一方、少子高齢化、高度情報化等時代の変化を踏まえた、これからの図書館には図書館の目的である本質的な機能に加え、住民ニーズを踏まえた新たな機能、高度な機能が求められています。

次は、「あらゆる資料の収集・提供」という役割についてです。

多様化し、高度化・個性化する生涯学習を援助していくためには、あらゆる人に開かれた公共図書館として、人間生活のあらゆる面に係わる資料を収集して、生涯学習を援助していく役割が求められます。

併せて、新しい情報機器の導入等によりその提供を効果的に行うなどサービスの向上を図ることが重要です。

3つ目は、「生涯学習の中核的施設としての図書館」という考え方です。それは

- (1) 図書館資料・情報の収集の一層の整備・充実
- (2) 学習機会の提供
- (3) 図書館資料・情報の収集・保存
- (4) 調査・研究開発

という様々な役割があります。

次は、「地域の情報拠点としての図書館」という考え方です。

今後の高度情報化社会においても、図書館は電子化された情報に対する住民のニーズに対して、適切に対応していくことが求められます。

資料や情報提供サービスを通して、人々の多様な活動を支援してきた図書館は、地域の情報拠点として、電子化された情報を含めた幅広い情報を提供するとともに人々の情報活用能力の育成を支援する必要があります。更に「民間活動との連携」について、今後は力を入れる必要があるということです。

民間の社会教育活動が活発化し、社会教育関係団体、民間教育事業者、ボランティア団体等が積極的な活動を行っています。今後の社会教育行政（図書館行政）にあっては、NPO等とも幅広く連携起用力を進める必要があります。

最後に、「図書館機能の高度化」の要請にどう応えていくかということです。

21世紀の大きな課題である少子高齢化、高度情報化に対応するために、図書館（社会教育施設）が中核となり、他部局、他機関等との連携により様々な支援機能をもつ課題解決型教育機関として活性化を図る必要があります。

具体的には、学校教育支援（学校図書館との連携）、子ども支援（進路情報の提供、読み聞かせ）、子育て支援（子育てレファレンス）、高齢者支援（ボランティアの活用）、キャリアアップ・ビジネス支援（ビジネス情報提供）、民間活動支援（読書グループへの支援）等の機能を付加し高度化を図る必要があります。

今までの4回分では、以上のような議論が、配布資料の内容も含めてまとめるとすればあったかと思えます。

【小杉山会長】

鹿島館長から総括的な話がありました。

理念検討というと難しく考えられがちですが、身近な問題として捉え、整理して分かりやすく進めていきたいと思っています。

本日はこれで終了します。

4. 閉会

5. 事務連絡

【佐藤管理係長】

本日は、これより傍聴人の方との意見交換を行います。運営協議会は終了していますので、委員の方のご出席は任意ですが、ご協力お願いします。